

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和4年度 12月号



手作りことわざかるた 3年1組

WITH コロナの参観・懇談会ご参加ありがとうございました。

1・2・6年生は前半・後半に分けさせていただきましたが、ほぼコロナ前の形の参観・懇談会を行い、多くの方に来校していただくことができました。懇談会は、本当に久しぶりの開催でしたので、参加者はとても少ないだろうと予想していました。あまりにも少ないようなら、懇談会

は淘汰される事業なのだと覚悟もしていました。

しかし、その予想に反し、多くの方が懇談会まで残ってくださいました。ほぼ100%の学級もあつたほどです。これには、職員一同、本当に励まされる思いでした。

子どもたちの学校生活の充実は、教職員が元気に働けてこそ成り立つものということは、十分にご理解いただけたと思います。

しかし近年、教職員のメンタルヘルスが危ぶまれているという報道を多く見かけます。幸い本校では、経験年数の浅い職員からベテラン職員まで、それぞれの持ち味を発揮して生き生きと勤務しています。そして、全員が「御小大好きクラブ」会員です。それでも、(私を含め)時には、授業や指導がうまくいかない自分に落ち込むことがあります。

多くの方が懇談会に残ってくださったという事実や、担任への声掛けは、保護者のみなさんが思うよりずっと、私たちを勇気づけてくれるものでした。ありがとうございました。

御前崎小2023に向けて 御小大好きクラブ会議

子どもたちや保護者のみなさまにもご協力いただき、2学期の学校評価を行い、2023年の御前崎小教育課程編成が始まりました。右の写真は、市川教務主任の進行で行った2回目の話し合いの様子です。

知・徳・体それぞれの場面で、新学習指導要領が示す3つの柱(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力)についての成果と課題をグループごとに整理しました。

どのグループからも一番に上がったのは、子どもたちの優しさや思いやりの育ちです。そして、こんなにステキな子どもたちなのだからもっと自信をもたせたい、という意見も多く出ました。残すもの、変えるものは何か、授業はどう改善していけばいいかなど、この話し合いは始まったばかり。子どもたちの意見を聞く項目も多くあります。

150周年を迎える御前崎小学校の2023年度を、よりよいものにするため、まだまだ知恵を出し合っていきたいと考えています。

かけがえのない194名の児童とご家族のみなさま、さまざまに学校を支えてくださっている地域のみなさま、そして御小の大切なスタッフである教職員にとって、この年末年始がすばらしいものになりますように。



話し合いの様子

(4年ぶりに帰省する、末妹家族と会えるのが楽しみな長女の校長 仁平美和子)

